

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成29年 6月27日

和歌山県知事

殿



提出者

住 所 和歌山県岩出市根来480番地

氏 名 株式会社崎山組

代表取締役崎山彰久

電話番号 0736-62-7000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社崎山組
事業場の所在地	和歌山県岩出市根来480番地
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

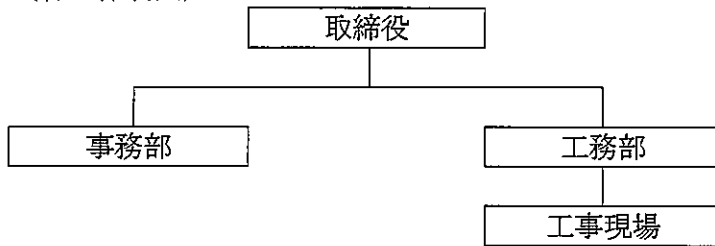
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 588,456千円
③ 従業員数	13人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事 → 分別 → がれき類 木くず 汚泥 建設混合廃棄物 廃プラスチック類 → 保管 → 再生処理

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



(役割)

事務部・・・委託契約の締結

現場責任者・・・委託業者の現地確認、作業員及び下請業者への教育、帳票の作成

現場担当者・・・マニフェストの交付、分別解体

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量		
	(これまでに実施した取組) 取壊しの際、出来る限り最小の作業範囲を確保し余分な取壊しを行わないようにし、発生量を抑える。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量		
	(今後実施する予定の取組) これまでに実施した取組を継続する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、その他、混合廃棄物の別に分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同じ。建築解体等を行う場合は、分別解体し混合廃棄物の発生を極力抑える。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		
	（これまでに実施した取組） 自ら直接再生利用、自ら中間処理した後再生利用は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		
	（今後実施する予定の取組） 自ら中間処理は行わない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		
	（これまでに実施した取組） 自ら中間処理は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		
	（今後実施する予定の取組） 自ら中間処理は行わない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処理又は海洋投入処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		
	（今後実施する予定の取組） 自ら埋立処理又は海洋投入処分は行わない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 別紙のとおり）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量			
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量			
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量			
	（これまでに実施した取組） 処理業者と委託契約を締結するに当たっては事前の現地確認（処理状況、維持管理状況、周辺状況）をするとともに、委託後に定期的な確認を行う。 再生利用が可能な廃棄物については、積極的に再生利用を推進するため委託先についての情報収集を行い、ルートを確保する。			

② 計画	【目標】別紙のとおり			
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量			
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量			
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量			
	(今後実施する予定の取組)			
	これまでに実施した取組を継続する。			
※事務処理欄				

平成28年度実績及び平成29年度目標

[illegible]